

「財務データ検索システム(7.0.0)」の使用例

1. 起動……デスクトップ上にある「財務データ検索システム[7.0.0]」のアイコンから起動します。
三田キャンパスのパソコンではデスクトップ上にアイコンがないので「スタート」→「財務データ検索システム」の順で起動します。
2. 「メイン画面」が表示されます。画面左下にある **会社検索** をクリックします。



財務データ検索システム(Ver.7.0.0)

ファイル(F) 設定(O) 検索(S) ヘルプ(H)

出力対象データベース: 財務・一般・単独・年度換算 設定ファイル名:

出力期間

全期間

絶対期間指 ~ 西暦4桁で入

相対期間指: 直近 10 期前まで

決算種別: 本決算

連結基準: 両基準同時出力

出力方向

決算期別出力 項目別出力

年度換算データオプション

データが存在しない決算期に関しては欠損値
各社のデータ件数を合わせて出力します

<以下の条件の場合選択可能>

対象DB: 一般・単独(連結)・年度換算 出力期
但し、連結基準の「両基準同時出力」は対象外

決算期出力形式

暦年(1月~12月)・・・決算期を暦年と決算

年度(4月~翌3月)・・・決算期を年度で出

会社

全会社 該当数 0 件

日経会... 会社名称

項目

全項目 該当数 0(0) 件

入力... 項目名称

会社検索 会社削除 クリア

項目検索 項目削除 クリア

設定ファイル読込 設定ファイル保存

出力 閉じる ヘルプ

出力形式
出力コード: 日経会社コード、証券コード
区切り文字: カンマ 項目名称あり(日本語)
会社名: あり

2つのボタンについては8ページの「☆設定ファイル読込・保存について」をご覧ください。

3. 「会社検索」のボックスが表示されます。ここでは「会社名称」の機能*を使用してみましょう。

会社検索

会社コード
日経会社コード:

証券コード:

会社名称
会社名: トヨタ 日産 ホンダ

業種
 業種選 業種削

上場場部
 場部選 場部削

本社所在地
 所在地 所在地

検索 条件クリア 閉じる

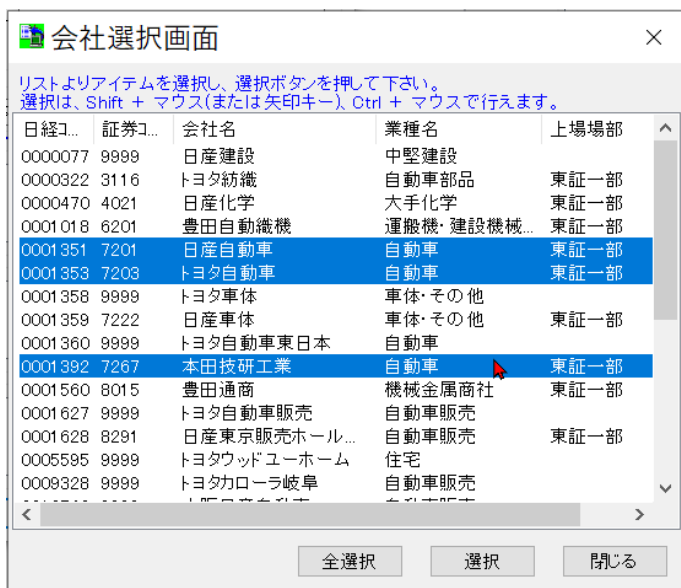
「会社名称」の「会社名:」欄に検索したい企業の名前(一部でも可)を入力します。複数を検索したい場合は会社名をスペースで区切ってください**。

「トヨタ自動車」「日産自動車」「本田技研工業」の財務データを検索するために「会社名:」欄に「トヨタ 日産 ホンダ」と入力し、左下の **検索** をクリックします。

* このボックスで使用している「業種」、「上場場部」、「本社所在地」の日本語名称をデータとして出力できます。詳しくは8ページの「☆企業属性の出力」をご覧ください。

** ここで指定した会社名に従って漢字社名およびカナ社名で部分一致する企業を抽出します。会社名に半角カタカナを使用した場合は自動的に全角カタカナに変換されます。会社名を区切るためのスペースに半角スペースを入力した場合も自動で全角スペースに変換されます。

4. 「会社選択画面」が表示されます。ここでは前項の「会社検索」で指定した「トヨタ」「日産」「ホンダ」を社名に含む会社の一覧が表示されます。これらの中から3社を選択するにはCtrl+マウスを使用します。



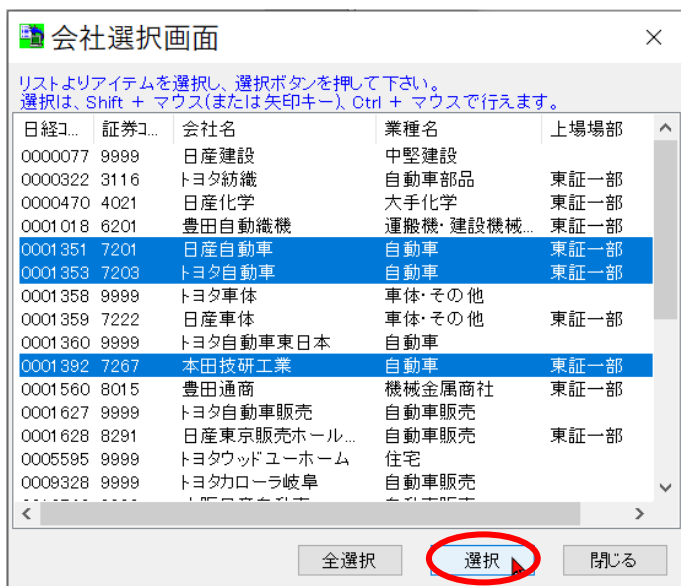
「日産自動車」の行をクリックします

↓
Ctrl を押しながら「トヨタ自動車」の行をクリックします。

↓
Ctrl を押しながら「本田技研工業」の行をクリックします。

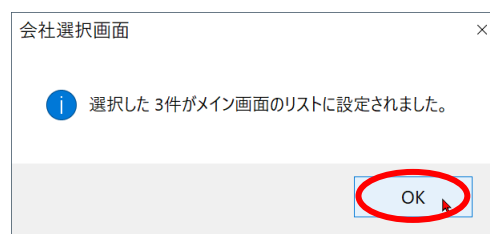
これで3社の指定ができました。この画面ではShift+マウスによる連続した範囲の指定も可能です。

5. 必要な会社名の行を指定し終わりましたらボックス下の **選択** をクリックしてください。



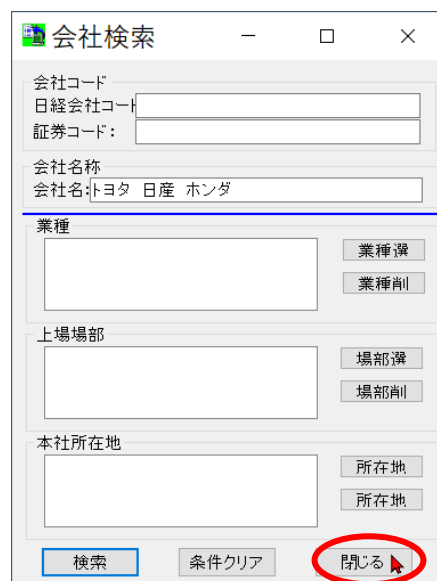
下にあるように「選択した3件がメイン画面のリストに設定されました。」と表示されますので

OK をクリックしてください。



「会社選択画面」が閉じられます。

6. 「会社検索」のボックスは残っていますので追加する企業がなければ **閉じる** で「会社検索」を終了します*。



* 「会社検索」のボックスを閉じずに残したままでも操作は可能です。

7. 「メイン画面」の「出力会社リスト」(図中A)に選択した3社が表示されています。

次は項目名を指定します。

項目検索 (図中B) をクリックします。

8. 「項目検索」のボックスが表示されます。ここでは「項目名称検索」の機能を使用してみましょう。

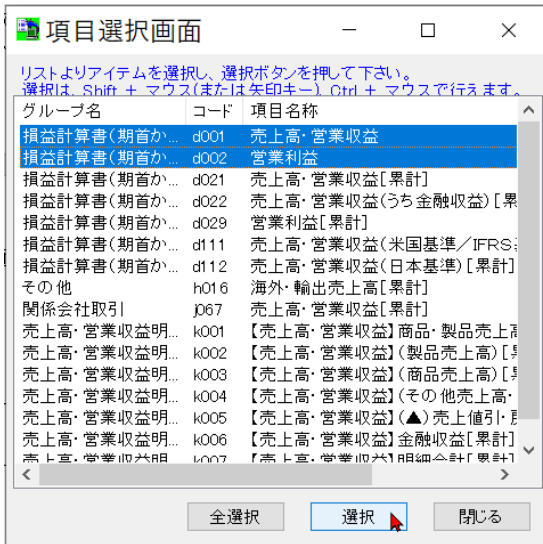
「項目名称:」の欄に「売上高 営業利益」と入力し、

検索

をクリックします*。

* 部分一致検索です。「項目名称検索」にはカナ指定はありません。複数指定する場合は項目名をスペースで区切ってください。

9. 「項目選択画面」が表示されます。



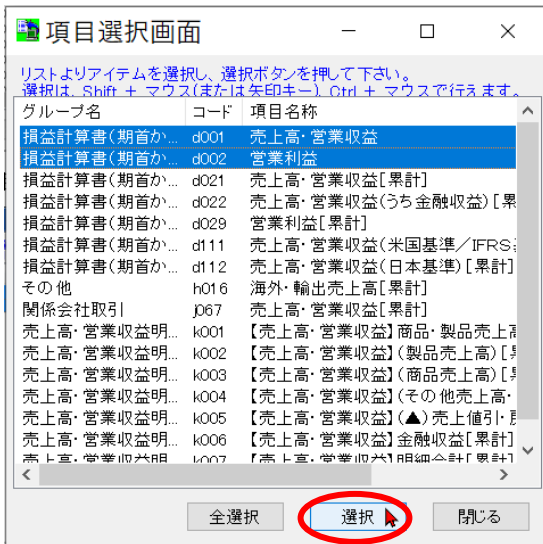
「会社選択画面」と同様、ここでも Shift+マウス, Ctrl+マウスを使用できます。

「売上高・営業収益」をクリックした後、Ctrl を押しながら「営業利益」の行をクリックします。

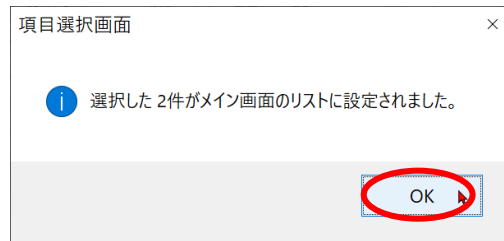
(連続した行なのでこの場合は、Shift を押しながらも同じ結果になります)

10. 必要な項目を指定し終わりましたら、

選択 をクリックしてください。

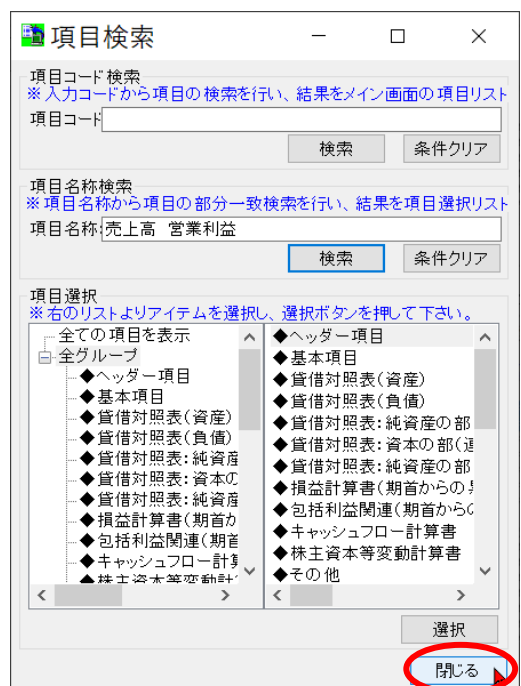


下にあるように「選択した2件がメイン画面のリストに設定されました。」と表示されますので **OK** をクリックしてください。



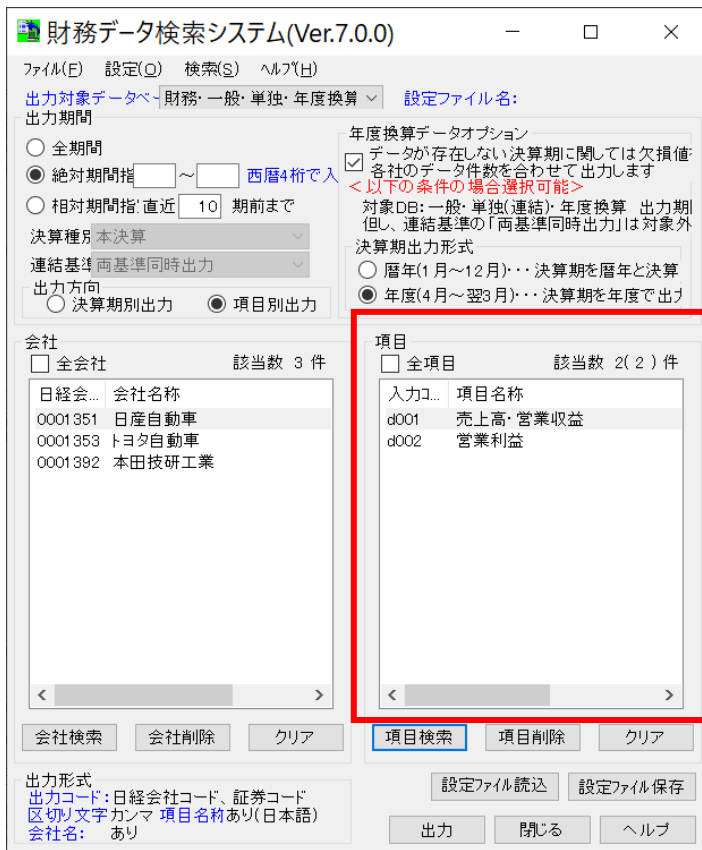
「項目選択画面」が閉じられます。

11. 「項目検索」のボックスは残っていますので追加する項目がなければ **閉じる** で「項目検索」を終了します*。

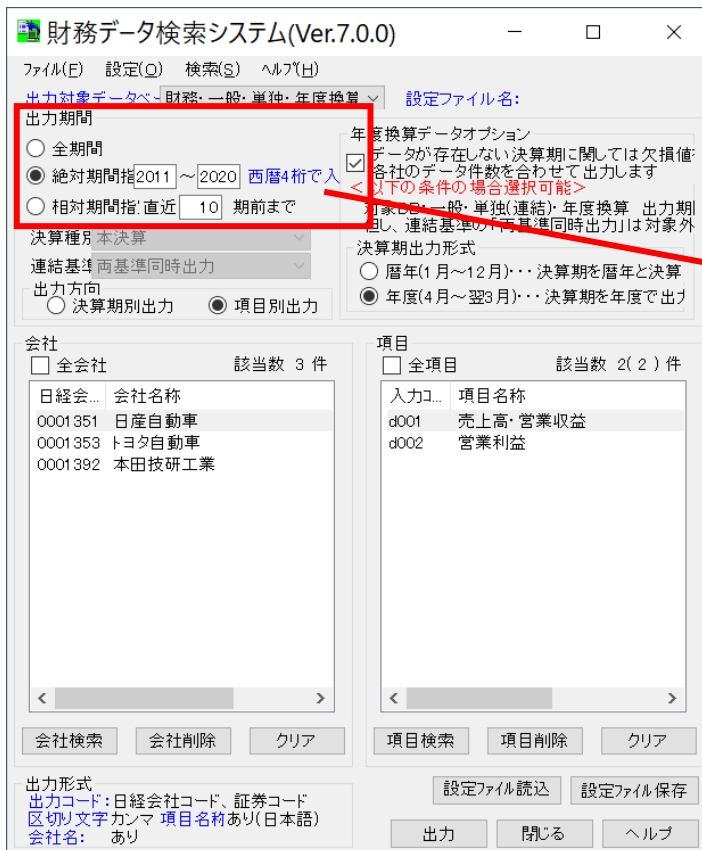


* 「項目検索」のボックスを閉じずに残したままでも操作は可能です。

1 2. 指定した「売上高・営業収益」「営業利益」が「メイン画面」の「出力項目リスト」に表示されています。



1 3. 次は「出力期間」の指定です。



ここでは2011~2020の10年間を指定しています*。

* 2022年度秋学期および2023年度春学期に三田 ITC からインストールメディアを借りることができるスタンドアロン(CD-ROM)版では2022年3月(2021年度)までのデータを出力可能です。

1 4. 必要な項目の指定が終わりましたので **出力** をクリックします。

財務データ検索システム(Ver.7.0.0)

ファイル(F) 設定(O) 検索(S) ヘルプ(H)

出力対象データベース: 財務・一般・単独・年度換算 設定ファイル名:

出力期間

全期間

絶対期間指 2011 ~ 2020 西暦4桁で入

相対期間指 直近 10 期前まで

決算種別 本決算

連結基準 両基準同時出力

出力方向

決算期別出力 項目別出力

年度換算データオプション

データが存在しない決算期に関しては欠損値
各社のデータ件数を合わせて出力します
<以下の条件の場合選択可能>

対象DB: 一般・単独(連結)・年度換算 出力期
但し、連結基準の「両基準同時出力」は対象外

決算期出力形式

暦年(1月~12月)・・・決算期を暦年と決算

年度(4月~翌3月)・・・決算期を年度で出力

会社

全会社 該当数 3 件

| | |
|---------|--------|
| 日経会... | 会社名称 |
| 0001351 | 日産自動車 |
| 0001353 | トヨタ自動車 |
| 0001392 | 本田技研工業 |

項目

全項目 該当数 2(2) 件

| | |
|--------|----------|
| 入力コ... | 項目名称 |
| d001 | 売上高・営業収益 |
| d002 | 営業利益 |

会社検索 会社削除 クリア

項目検索 項目削除 クリア

出力形式

出力コード: 日経会社コード、証券コード
区切り文字 カンマ 項目名称あり(日本語)
会社名: あり

設定ファイル読込 設定ファイル保存

出力 閉じる ヘルプ

1 5. 適当なファイル名 (ここでは「自動車」) を入力し **保存** をクリックします。

検索結果の保存先の指定

← → ↑ ↓ k... > ドキュ... 検索

整理 新しいフォルダー

| 名前 | 更新日時 | 種類 |
|--------------------|---------------|-----|
| .tmp.drivedownload | 2020/08/04... | ファイ |
| Adobe | 2021/05/19... | ファイ |
| AirDroid | 2016/12/27... | ファイ |
| ... | ... | ... |

ファイル名(N): **自動車**

ファイルの種類(O): CSV(カンマ区切り) (*.csv)

↑ フォルダの非表示 **保存(S)** キャンセル

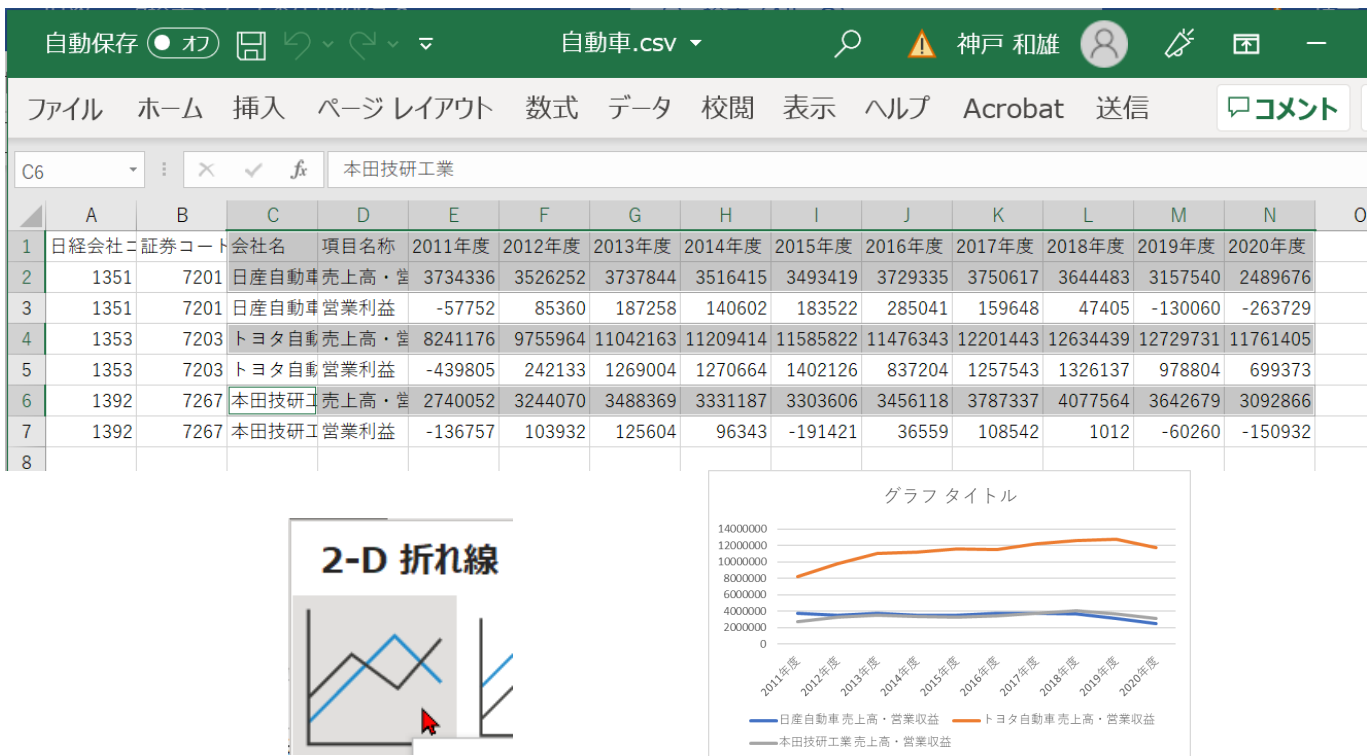
1 6. 「抽出が終了しました。」というボックスが表示され、保存したファイルを開くか聞いてきます。ここでは **はい** をクリックし開いてみます。

財務データ検索システム(Ver.7.0.0)

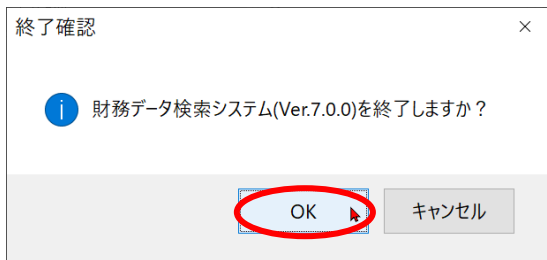
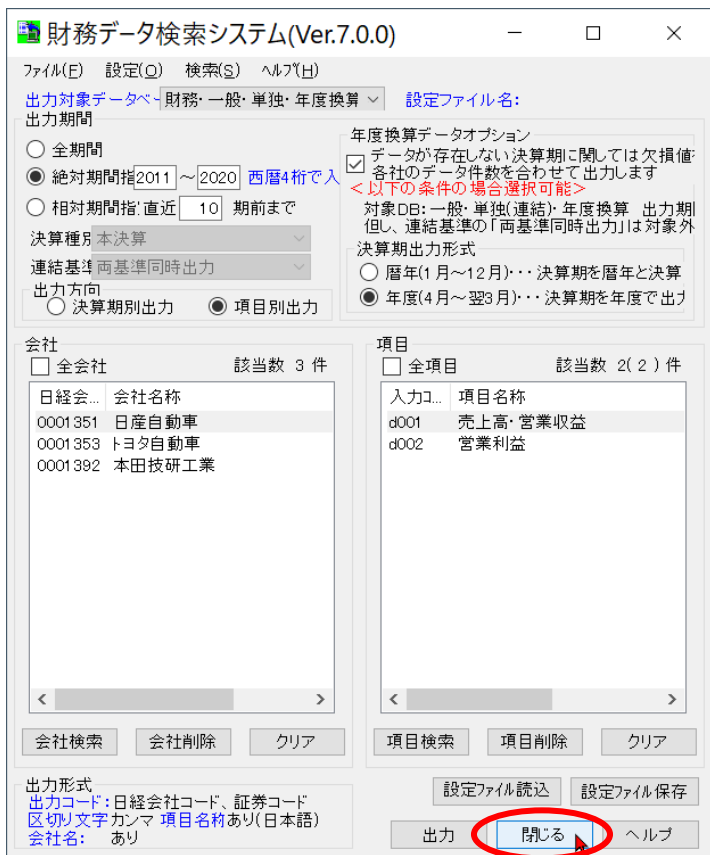
抽出が終了しました。
保存したファイルを開きますか?

はい(Y) いいえ(N)

17. 保存したファイルが拡張子 csv に関連付けられたアプリケーションによって開かれます。以下は Excel (Microsoft 365) で開いた例です。最初の部分を指定した後、Ctrl を押しながら必要な範囲を追加して、「挿入」→「折れ線/面グラフの挿入 2-D 折れ線」でグラフを描くことができます*。



18. 「財務データ検索システム」を終了するには「メイン画面」の **閉じる** をクリックします。



終了確認のボックスが表示されますので **OK** をクリックして終了です。

* Excel で加工した場合、CSV ファイルのままでは計算式やグラフが保存されないため終了時に Excel 形式で保存することを忘れないようにしましょう。Excel 形式での保存は「名前をつけて保存」で表示されるボックスの「ファイルの種類」で「Excel ブック」を選択した上で保存します。

☆設定ファイル読込・保存について

メイン画面に **設定ファイル読込み** , **設定ファイル保存** の2つのボタンを設定してあります。

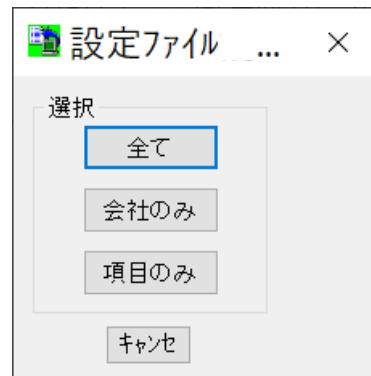
ここでいう「設定ファイル」とはメイン画面で指定したデータベース名, 期間, 会社名, 項目名などの検索条件を保存するファイルのことを指します。

2つのボタンともクリックすると右の形のボックスが表示され「設定ファイル」で扱う範囲を指定することができます。

「会社のみ」は会社名, 「項目のみ」は選択した項目と出力対象データベースが保存されます。「全て」では「会社のみ」, 「項目のみ」に加え, 出力期間, 出力方向などすべての検索条件が保存されます。

また「会社のみ」については会社種別(一般, 銀行, 証券, 損保)が同じ場合に限ってデータベースをまたがって利用できます。

例: 検索条件指定後, 「設定ファイル保存」→「全て」で全ての検索条件を保存するか「設定ファイル保存」→「会社のみ」で会社名一覧を含んだ設定ファイルを保存します。この後, 出力対象データベースを変更すると会社名の一覧, 項目名の一覧ともクリアされてしまいますが「設定ファイル読込み」→「会社のみ」で保存しておいた「設定ファイル」から会社名の一覧を呼び出すことができます。



☆企業属性の出力

検索できる項目として「上場場部: 日本語名称」, 「日経業種: 日本語名称」, 「本社所在地: 日本語名称」を設定してあります。また「日経業種: 日本語名称」で出力されるのは「小分類業種名」のみでしたが, 「中分類業種名・小分類業種名」を出力するように変更しました。

これらの項目は「会社検索」を行なう際の条件設定に利用されていましたがデータとして取得できるのは「上場場部」, 「日経業種」のコード(数値)のみでした。コードの表す意味は一般には知られていないので日本語化したデータを取得できるようにしました。「項目検索」中の「ヘッダー項目」から出力対象項目として選択することができます。

